

# 令和元年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和2年3月18日（水）

午後6時00分～午後7時55分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

出席者：審査委員 土井委員長、大倉委員（事業番号20から）、安田委員、  
鴻野委員、藤田委員、柴田委員、山形委員、金ヶ崎委員、  
齋藤（紀）委員、成田委員、一條委員、川村委員  
市民協働課 高谷課長、竹内補佐、中村係長、田澤主査、小山主事、村上主事  
菊地主事

## 1 公開プレゼンテーション・審査会

### <プレゼンテーション・審査方法>

・1事業ごとに公開プレゼンテーション・審査を実施。（審査は採点方式によって決定。）

ただし、申請金額が20万以下の事業については、公開プレゼンテーションによる事業説明を申請団体の任意とする。事業説明を希望しない場合は、市の担当者による事業説明を実施する。

・審査委員が申請団体に所属する場合は、プレゼンテーションから審査まですべて外れる。

#### （公開プレゼンテーション有）

1. プレゼンテーション …15分程度  
（7分以内で事業内容の説明。残り時間で質疑応答）
2. 審査 …20分程度  
（事業内容・金額について審議後、採点表に記入）
3. 採点結果発表 …採点表集計後、休憩ごとにまとめて発表

#### （公開プレゼンテーション無）

申請団体のプレゼンテーションによる事業説明を省略し、1事業につき15分程度とする。（7分以内で市担当者による事業説明。残り時間で質疑応答）

【審査項目】

審 査 項 目	
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる

【審査採点】

区 分	評 価
高く評価できる	10点
「高く評価できる」と「普通」の間の評価	8点
普通	6点
「普通」と「あまり評価できない」の間の評価	4点
あまり評価できない	2点
評価できない	0点

【決定方法】

採択…出席委員の合計の平均点が60点以上、かつ、各審査項目の平均点が3点以上

《審査内容》

事業番号	30
事業名	障がい者スポーツ環境整備事業 ～定期的な活動場所の提供～ ユニバーサルスポーツクラブ
団体名	特定非営利活動法人 スポネット弘前

【質疑応答（抜粋）】

Q：ボッチャは何年頃から取り組み始めて、参加者の数が多いのか教えていただきたい。

A：2年くらい前から用具を購入し、小学校や町会にボッチャのルールや練習方法等を指導させていただいている。パラリンピックの影響か年々依頼数は多くなっている。

Q：聴覚障がいの人が来た時に、手話対応できる人はいるのか。

A：主に筆談での対応となると思う。職員のみでの対応は難しいので、聴覚障がい者の人への指導法あるいは接し方を学ぶという点でも、外部講師に継続したいと考えている。

【主な意見】

- ・自分たちで指導員の資格を取得して取り組んでいる。将来を見据えた動きもあって大変いいと思う。
- ・障がいをお持ちのかた、車椅子のかたがそこに行ったら競技ができるとなれば、楽しみができて、精神的にも明るくなっていくと思う。そういう場を作ってくれたことはすごくいいことだと思う。

【採択結果】

合計点 81.6 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		81.6

事業番号	20
事業名	「スマイル UP ルーム」
団体名	特定非営利活動法人 マザーフィールド

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：ボランティアを確保していく仕組みとか、何か工夫していることはあるか。

A：現在、ボランティアをしている学生に後輩を紹介していただいたり、ネットワークの広い理事から紹介していただいて多数確保できている状況である。

Q：満足度調査のようなアンケートは取っているのか。

A：紙の状態では取っていない。毎回やり取りする中で、時間帯や食事メニューなどについて聞き、そういう声は反映させるようにしている。

### 【主な意見】

- ・他の市内の子ども食堂とは違って、食生活改善推進員が入っているのが大きなポイント。食生活改善推進員の専門性を生かし、食育も取り入れた子ども食堂の開催をお願いしたい。
- ・ボランティアの学生にとっても、素晴らしい経験の場所になると思う。ぜひ頑張って広めてほしい活動内容だ。

### 【採択結果】

合計点 80.2 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		80.2

事業番号	12
事業名	幻燈列車 Magic Lantern Railways
団体名	Magic Lantern Railways

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：今回1%システムに申請した理由を教えてください。

A：一度事業を実施してみて、自分たちの力だけでは継続していくのが難しいと感じました。これからの若い人たちに地元での企画の可能性を伝えていきたいので、一度きりではなく継続していくことに意味があると考えています。

Q：今後、弘南鉄道と協働で企画をする考えはあるのか。

A：弘南鉄道は、好意的な反応をしてくださっている。以前実施した時も、すでに支援をしていただいている部分もある。今後も事業を継続していくのであれば、そういった部分も考えていきたいと思っている。

#### 【主な意見】

- ・弘南鉄道の利益を上げるという側面は必要だと思う。どういうふうなやり方でやれば、事業面で上手く利益が出るのかというところまで見いだせるぐらいまで継続していただけたらいいと思う。
- ・利益があるような、他の取り組みもしていただきたいと思う。メンバーの中に弘南鉄道のかたも一緒に計画に参加していただいて、協賛に弘前と黒石のお店も入れていただくとお互いに活性化し合う中で、より一層のサービスや何か新しい企画が出てくるのではないかとすることも期待したい。ぜひ頑張ってください。

#### 【採択結果】

合計点 70.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合 計		70.0

事業番号	10
事業名	親子の触れ合い「親子じゃれつき遊び」と 子どもの生活習慣・体力・社会性をはぐくむ「運動遊び」
団体名	子育て支援サークルママーズクラブ

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：ボディーメンテナンスに関して、1回の参加者を増やしていくことは可能なのか。

A：幼稚園、小学校の行事とかを見比べながら一応は計画を立てるが、多い時少ない時というのがあるので、日程をもう少し組み直したらいいかと思っている。

Q：それぞれのメニューで、参加されるかたが固定化することはないか。

A：ボディーメンテナンスについては、新規に参加されるかたが多かった。遊びについては、参加者の出入りがある程度あり、固定しているという感じではない。

### 【主な意見】

- ・お母さんたちの居場所、情報交換の場所が大事になってきている。同じ立場の人が集まって、いろんな話をする事自体が、すごくいい場の提供になっていると思う。
- ・チラシや口コミの他に、Facebook や SNS など、やっていないことに新しくトライしてみるのもいいと思う。

### 【採択結果】

合計点 69.8 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		69.8

事業番号	9
事業名	2020年 みんなのウォークラリー大会 〈弘前の街中にあるいろんな「卍」を見つけながら歩こう〉
団体名	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：これからどのような宣伝広告、PRをしていこうと考えているか。

A：PRの方法として成果を発表する場が必要だと思う。まず1%システムの発表会に参加するようにしたい。それから、参加者の方に自分たちで成果を体験してもらい、口コミ宣伝が一番なのではないかと思っている。その方法もPRと同時に成果発表の仕方を検討してみたい。

Q：「卍」を見つけようということだが、実際に団体側は把握しているのか教えていただきたい。

A：土手町、マンホール、標識。子どもたちにも見やすく、そんなに難しくない、わかりやすい場所を選んでコースを作っている。

#### 【主な意見】

- ・成果の発表会に参加していただくことで、他の団体との接点やそれぞれの団体の会員の方に、ウォークラリーの話が広がっていくということもあると思う。いろんなかたちで成果を見せていかないと、市民の方にも伝わっていかないと思う。
- ・勉強会みたいなことをして、知識を持って探しに行くと、興味が湧くのではないか。事前にある程度のことを知っておくと、新しい発見があるかもしれない。
- ・歩くことや健康のことに取り組んでいる他の団体の参加者にも情報を届けて、知ってもらう取り組みをしていただきたい。
- ・年々参加者が減ってしまっていることに対して、例えば公共施設などで事業をもっと広く伝えていく活動も非常に効果的だと思う。

#### 【採択結果】

合計点 66.2点  $\geq$  60.0点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点



審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.7
合計		66.2

3月18日審査結果 (35事業のうち5事業)

採択とする事業                      5事業

不採択とする事業                    0事業

# 令和元年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和2年3月20日（金・祝）

午前9時00分～午後3時50分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

出席者：審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、鴻野委員、齋藤（秀）委員、  
山形委員、齋藤（紀）委員、成田委員、一條委員、川村委員  
市民協働課 高谷課長、竹内補佐、中村係長、田澤主査、小山主事、村上主事  
菊地主事

## 1 公開プレゼンテーション・審査会

3月18日に引き続き審査

《審査内容》

事業番号	34
事業名	HIROSKI JAZZ STREET 2020
団体名	弘前駅前遊歩道賑わい祭実行委員会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：昨年度の課題を今年度はどう重点的に改善していこうと思っているのか教えていただきたい。

A：昨年度の課題は、メインステージに人が集まりやすく、第2ステージでは人が少ない感じを受けた点だった。今年は演奏の最中でも、案内を入れるなどMCの工夫をしていきたい。また、電光掲示板で常に情報を流し、人の流れを広く持っていきたい。

Q：将来的に、もっと周辺まで広めていく構想はあるか。

A：広げるとなると予算規模が大きくなる。並木通りを超えていくと信号機もあり、警備員を配置しなければならない。やっている店舗も少ないので厳しいと思っている。

### 【主な意見】

- ・これだけ大きな規模のイベントを、6年間、長く続けてきたことは素晴らしいと思う。
- ・大きなイベントは、かなり多くの人に関わりがないとできないが、このイベントはたくさんの方の労力が入っていて良いと思う。
- ・場所的には、あれほど恵まれた場所は無いので、持ち出しの負担や協賛を集めることも大変だと思うが、ぜひ続けて頑張っていただきたい。

【採択結果】

合計点 78.4 点  $\geq$  60.0 点  $\Rightarrow$  採択 (申請額どおり)

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.4
合計		78.4

事業番号	28
事業名	「こども harappa ―びじゅつのじかん」
団体名	NPO 法人 harappa

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：スタッフの確保が難しいと申請書に書かれていたが、スタッフの確保について、アイデアがあれば教えていただきたい。

A：現在、ボランティアスタッフとして harappa の会員に声掛けをして参加していただいている。子どもたちに接するスタッフなので、将来教育現場に就きたいかたや子どもが好きな学生に手伝ってもらいたいと思っている。弘大のボランティアサークルに声掛けをしているが、なかなか日程が合わないなどの理由で集まらない。団体としては学生に関わってほしいと思っているので、アピールを頑張っていきたい。

### 【主な意見】

- ・普通の会議室よりも美術館の中でやるほうが、子どもたちにとってもいいと思う。ぜひ弘前れんが倉庫美術館で実現していただきたい。

### 【採択結果】

合計点 75.2 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.6
合計		75.2

事業番号	11
事業名	こいのぼり設営
団体名	大地の会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：こいのぼり作りの時に、指導する講師は不要なのか。また、PRのうえでやろうとしていることがあれば教えていただきたい。

A：小学生の子どもたちに好きなように書いてもらいたいので、今のところは考えていない。PRについて、具体的なことはまだ考えていない。まず地域の小学校から、地域内にというところである。

### 【主な意見】

- ・地域の若い人を中心に子ども、学校を巻き込んで、地域の特性を逆に活かした地域全部で参加できる非常にいい取り組みだと思う。
- ・注目されることによって元気が出て、いい循環になっていける可能性がある事業だと感じた。ぜひ地域外にPRして、メディアに取材に来てもらってほしい。
- ・こいのぼりについてストーリー性を持たせると毎年楽しく取り組めると思う。製作プロセスを公開したり、自分たちで記録することがあるといいと思う。

### 【採択結果】

合計点 72.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.0
合計		72.0

事業番号	1
事業名	市民健康増進事業「第9回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」
団体名	弘前歩こう会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：参加者の状況を詳しく知りたい。

A：応募したかたは、原則参加していただき、バスの定数をオーバーした時は、構成員に遠慮いただき、一般参加者を最優先する。障がい者のかたも参加したいという希望があれば、会員ができるだけフォローをしていきたいと思っている。

Q：「津軽ツデーマーチ」のような子どもが参加する他のウォーキング大会等で、周知活動はできないのか。

A：県内には16のウォーキングのクラブがあり、大会としては14のウォーキング大会がある。これについては全てチラシを100枚ずつ、その大会に向けて配布するというようなかたちで考えている。

Q：まだまだ事業を継続する意思があると思うが、5年後にどういう状況になっていたかというビジョンがあれば教えていただきたい。

A：今は対象者を区別していないが、健常者と障がい者や高齢者と子どもだけのようなかたちで、少し整理しながらやれないか、その場合に経費的にはどうなるのかなど、検討しながら見据えてみたいと考えている。

### 【主な意見】

- ・自立に向けた取り組みとして、直接参加する方々に係る経費は、それがいくらかかろうと、適正な価格として参加費を取るべきなのではないかと思う。
- ・参加者にとって、歩く以上の効果があると思うが、その効果が見えづらいので、楽しみたい人のために、参加費だけでは賄えない部分の費用補填に見えてしまうところが残念だ。

### 【採択結果】

合計点 68.6 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.4
合 計		68.6

事業番号	2
事業名	青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業 「第7回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」
団体名	時敏地区青少年育成委員会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：講師の謝礼等は、学校の方で負担していただくことはできるのか。

A：現在の学校活動費では、講師謝礼を払うというのは趣旨的にずれがあるし、目的が違うので、1%システムに申請して実施してきた。

Q：他の地域でもこのような事業の取り組みをする上で、大事なことは何か教えていただきたい。

A：地域課題、地域学習、地域の子どもたちに自分の生まれ育ったところが、どういう特徴がある地域なのかを学ばせることをどのようにやるかは各学校の事情によって違うが、地域をしっかりと認識してもらう活動は大事だろうと思う。

### 【主な意見】

- ・広域性の観点と事業の効果は重要だが、特定の地区の子どもだけでなく、ここで蓄積されてきた経験を他の地区にも共有してほしいと思う。

### 【採択結果】

合計点 70.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		70.0



事業番号	4
事業名	防災・地域づくり・地域世代間交流事業 「第4回 西部仲町 自主防災会 防災訓練事業」
団体名	西部仲町 自主防災会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：今後、継続していくうえで、いつまで備品を加えていく予定なのか。また、どのくらいの経費があれば、活動していけると考えているか。

A：毎年整理をし、藤代消防署のかたから指導していただきながら揃えている。今年の申請で、大筋数量等が揃うかなと思っています。スコップなど、会員数に対して数が足りないもので自宅から持ってこられるものは、あえて買わずに実施したらどうかということについては、留意しながら実施したい。

### 【主な意見】

- ・1%システムに申請されてくる事業は、物品を要望するものが多く、それを使ってどう避難するかが求められがちだが、今回、自主・自助の段階を重視するテーマなのであれば、自分が家の中でまず何を出来るか、日常の生活で何を守ることができるか、守らなければいけないのかということに、ぜひ取り組んでいただきたい。

### 【採択結果】

合計点 70.2 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（消防団員謝礼は補助対象外）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.2
合計		70.2

事業番号	13
事業名	国吉獅子踊活動拡大事業
団体名	国吉獅子踊保存会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：市内のいろんなところのお祭りとの連携する機会はあるのか。

A：「岩木山麓獅子共演会」に当会の関係者が5、6人参加している。元々6団体くらいあったが、今は4団体くらいしか残っていない。毎年8月のお盆前に集まって共演会をして、総会も開催している。

Q：松森町の獅子舞との連携はないのか。

A：松森町の獅子舞は国吉獅子の親獅子。私どもは松森町から引き継いでやっている獅子であり、系統は同じである。

### 【主な意見】

- ・ 伝統文化を継承していくのには、子どもたちの参加が必須であり、そこが出来ているのは、他の団体は羨ましいと思うだろう。会のみなさんの意気込みや努力された結果であり、素晴らしいと思う。
- ・ 子どもが参加すると親御さんもついてきて、世代間が広がっていく。地域全体で盛り上がっていきけるきっかけが、この獅子舞になれば凄くいいと思う。

### 【採択結果】

合計点 72.4 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合計		72.4

事業番号	35
事業名	鬼檜地域「歴史と伝統の里づくり事業」
団体名	歴史と伝統の里「鬼沢の会」

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：将来的な自立化に向けて、参加費を上げるなど考えていることがあれば、教えていただきたい。

A：多くのかたに参加してほしいということで、単価を下げている。これからいろいろなかたちで、費用が掛かってくると値上げせざるをえなくなる。参加者の集め方、どういう単価設定にするかはこれから考えたい。

Q：事業化やブランド化など、将来のビジョンがあれば教えていただきたい。

A：第一は地元が活性化すること。いまは無償でやっている活動が多いが、りんごなどの販売も考えたい。しかし、まずはスタッフをどういうかたちで若い人たちに繋いでいけるかが、いま一番の課題であると考えている。

Q：今回のツアー参加者で、県外の方は何人ぐらいいたのか教えていただきたい。

A：スタッフの知人ということで参加になったが、47名のうち3名の参加であった。

Q：今後のツアーとしては、新規のかたやリピーターのかた向けに、どのような方向性を考えているのか教えていただきたい。

A：できれば新規のかたにもどんどん覚えてもらいたい、応募してほしいという思いがある。一度参加すると、また来たいって人が多いので、ツアーの新たな展開を目指していきたいと思っている。

#### 【主な意見】

- ・今回のワークショップは、お客さんも中に参加してもらおう計画を立てているので、いろんな世代のかたに参加していただいて、次に繋げていっていただければいいと思う。
- ・ツアーを展開することで、地域の伝説を継承する人材育成もしていく。上手な組み立てだと思う。

#### 【採択結果】

合計点 73.8 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合 計		73.8

事業番号	23
事業名	子どもの生きる力を育てる「こども農業部」事業
団体名	みらいねっと弘前

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：途中参加の人たちが出た時の対応や工夫を教えてください。

A：途中参加の子には、一連の収穫過程について説明している。今までは月謝の料金体系だったが、来年度、単発的に来たいという子もいるので、単発の金額設定をしたいと考えている。

Q：最終的にどういうところを目指しているのか、教えてください。

A：子どもたちの参加が増えてくるのに比例して、手伝ってくれる人も増えてきた。一年間こういう体系を通じてやっていければいいと思っている。また、「大人も参加できるか」という問い合わせもあるので、大人部門とかもあってもいいのかなど思っている。それから農家さんとの連携も増えてきていて、加工品等も強化していきたい。農業の可能性を広げていきたいと思っている。

Q：開催が1カ月に1回よりも、毎週の方がいいという理由を教えてください。

A：農業部を楽しみにしてくれている子が多く、毎週の方が逆に習い事の日にちをずらすなど、都合もつけやすいため。また、活動の中での発見や、仲間と会う楽しさもあるようで、毎週でも足りないくらいだと感じている。

#### 【主な意見】

- ・企画自体は凄くいいので、これからも頑張ってもらいたいと思う。
- ・どうしても少人数で人数が固定してしまっているが、これからは10人や15人のお子さんに対する経費の妥当性や全体の事業費のかけ方など経費面も考えながらやっていただきたい。また、事業自体の波及効果や周りの人への広がりなど、お金にはあらわれない効果が出ていると思う。
- ・ちょっと参加できるみたいな仕組みを作ると、さらにたくさんの人に農業を体験する機会を提供することができると思う。

#### 【採択結果】

合計点 79.4 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合 計		79.4

事業番号	17
事業名	弘前暮らしの保健室
団体名	弘前暮らしの保健室

【質疑応答（抜粋）】

Q：将来的にどういう方向へ活動していこうとしているのか教えていただきたい。

A：将来的には交流センターのようなところではなく、固定した場所で、いつも行ったら相談できるような場所づくりをしたいと考えている。

【主な意見】

- ・大変いい活動なので、自立に向けて今後さらに工夫を加えて頑張ってください。
- ・こういう組織が町会のいろんなところでできれば嬉しいと思うし、また老人の引きこもりなどにも対処する高い能力を持っていると思う。長く継続してほしい。

【採択結果】

合計点 73.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合計		73.0

事業番号	29
事業名	久渡寺で応拳の幽霊2
団体名	久渡寺で応拳の幽霊実行委員会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：全国の人に知ってもらうことができた発信の仕方、工夫があれば教えていただきたい。

A：去年はPRするのにインターネット、SNSのアカウントを中心にイベントについて全国に発信した。それからFacebookページの有料広告を使って、落語や日本画に興味があるかたにターゲットを絞ってPRをした。

### 【主な意見】

- ・まず、弘前市民の認知度を上げることも大事だと思う。
- ・津軽三十三観音の一番札所が久渡寺。このことも一緒にアピールしてもらえると余計にいいと思う。
- ・イベントものは集客が大変で、この企画に関してはFacebookの有料広告でターゲットを落語や日本画ファンに絞ったことで、本当に興味があるかたが集まった結果、来た人の満足度も高くなった。いい方に繋がっていったので、1%システムの中ではすごく参考になる一つの方法だと思った。

### 【採択結果】

合計点 74.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合計		74.0



事業番号	31
事業名	「乳がん市民公開講座」とケア帽子作りでがん患者さんを応援！！
団体名	ほほえみネットワーク

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：ロコミの流れやネットワークにつながっていないような人たちに、この活動について情報をどう伝えるかお考えがあれば教えていただきたい。

A：弘前市内の乳腺専門やがん治療をする病院にチラシを置いていただくことで告知をして、ロコミとネットでの配信なども考えている。

Q：病院を中心にチラシを置くと、患者さんをターゲットにした企画になると思うが、一般の方々にも参加してもらいたい講座ではないのか。

A：新聞やテレビを利用しながら、市民公開講座のように一般の方に告知していきたいと思っている。

### 【主な意見】

- ・一緒に帽子を作ることによって仲間をどんどん増やし、元気づける、勇気を分け合うことで繋がっている。集まって一つのことを作業するということがすごく素晴らしいことだと思った。ぜひこの活動を続けてほしい。

### 【採択結果】

合計点 77.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合計		77.0

事業番号	22
事業名	太宰治まなびの家 津軽カタリスト定期公演 事業
団体名	津軽カタリスト

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：今後のPRの仕方について、経費がかかっている部分であるチラシの配布以外にアイデアはお持ちか教えていただきたい。

A：PRとしては、チラシ以外にSNSもやっている。お年寄りのかたは、広報ひろさきを見て来たというかたが多く、広報ひろさきに載せてもらうのが大きい。新聞、ラジオにもたまに載せてもらっているお陰で、その効果が出ていると思う。

### 【主な意見】

- ・弘前が、太宰治の研究のご当地であるということを広めたいために、その主案としてドラマリーディングをやっている。そういう捉え方であると再確認した。
- ・弘前が太宰治の研究の重要な拠点だということ、上手く読ませるようなチラシがあってもいいのではないかと思うので、改善できるのなら期待したい。

### 【採択結果】

合計点 64.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.6
合計		64.0

事業番号	14
事業名	日本一エコな桜を見る会事業
団体名	特定非営利活動法人 もったいないつがるの会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：実施場所が決まったか教えていただきたい。

A：観光課の方で、観光館、追手門広場を借りてもいいということになった。

Q：市が弘前さくらまつりを中止した場合には、開催をやめるのか。もし実施する場合でも早咲き対応が考えられるが、その場合も実施するのか教えていただきたい。

A：早咲きは想定している。場所が観光館ということで、それほど影響はないかと思う。

Q：公園を見てきた人から100円を徴収する予定なのか。

A：環境課から許可が下りず、寄付ということにしたいと思っている。

Q：これまで「リリバック」のモニターになってくれた人数はどれくらいか。

A：アンケートの結果を持ってきた人には抽選で商品券を差し上げます、ということにしていたが、抽選というのが影響したのか、実際は300名に配布したが、30名しか返ってこなかった。

#### 【主な意見】

- ・一つのテーマ、ごみの減量化ということに長く取り組んでこられて、素晴らしいと思う。
- ・弘前公園の中ではなく追手門広場ということで、公園の中からそこまでゴミを持ってきてくれる、足を運んでもらうのは難しいと思う。周知方法を工夫していただきたい。
- ・公園内でチラシを撒くと、逆にそれがゴミとして捨てられないように工夫してもらいたい。
- ・早咲き対応も可能ということで、期間が長くなると経費も多くなると思うが、日にちを絞るとかいろいろ工夫されて、望まれて効果を上げられることを期待したい。頑張っていたいただきたいと思う。

#### 【採択結果】

合計点 58.4点  $\geq$  60.0点 ⇒不採択

※審査委員10名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	4.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	5.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	5.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	5.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.4
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.8
合 計		58.4

3月20日審査結果 (35事業のうち14事業)

採択とする事業            13事業

不採択とする事業        1事業

# 令和元年度第6回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（3日目）

日 時：令和2年3月21日（土）

午前9時00分～午後4時10分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

出席者：審査委員 土井委員長、安田委員、鴻野委員、齋藤（秀）委員、  
藤田委員（事業番号8から）、柴田委員、山形委員、金ヶ崎委員、  
齋藤（紀）委員、成田委員、外崎委員、一條委員、  
川村委員（事業番号33まで）  
市民協働課 高谷課長、竹内補佐、中村係長、田澤主査、小山主事、村上主事  
菊地主事

- 1 公開プレゼンテーション・審査会  
3月18、20日に引き続き審査

《審査内容》

事業番号	27
事業名	～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後449年祭
団体名	和徳歴史探偵団

## 【質疑応答（抜粋）】

Q：コンテストのテーマ「スイーツ」について、もう少し詳しく教えていただきたい。

A：今回「アイデアけの汁コンテスト」で初めてテーマを決めてやりたいと思った。去年、一昨年と汁でないものが結構コンテストに出てくるようになり、グランプリになった。スイーツをテーマにしたら、どんなものができるのかと思い、企画してみた。

Q：元々の活動趣旨が、けの汁の歴史性や意味を伝えることがテーマになっている活動だったのではないか。

A：形としては、ちょっと離れるようには見えてしまうが、歴史あるけの汁を食べてもらった後に、こういうけの汁もあるんだってことを知ってもらうのも、ひとつ必要ではないかという思いでこのコンテストをやっているので、ご理解をいただきたい。

## 【主な意見】

- ・オリジナルのけの汁を守るべきじゃないかを感じる。

- ・まずは、けの汁に興味を持ってもらいたいということで、若い人にウケがいいスイーツという企画が出てきのではないかな。試しにやってみるのも面白いと思う。
- ・団体が目的にしている和徳の歴史についての部分と、けの汁の具材を使ったスイーツのレシピのコンテストが論理的に結びつかないと思う。

**【採択結果】**

合計点 62.7 点  $\geq$  60.0 点  $\Rightarrow$  採択 (申請額どおり)

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.8
合計		62.7

事業番号	3
事業名	文化振興事業「第4回 大森勝山遺跡と世界遺産登録を学ぼう会」
団体名	弘前縄文の会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：ガイド養成に関するプログラムは、どのようなものを考えているのか。

A：昨年は縄文というものの知識を習得してもらい、今年は大森勝山遺跡周辺の観光的なところや見どころなど、大森勝山を取り巻く施設の勉強も併せてやっていただくことで進めている。

Q：「講師の協力を得ながら」とのことだが、講師はどのような方がいるのか教えていただきたい。

A：知識、学習に基づく講師については、日本考古学会の学会員のかた6名をリストアップしている。車力、浪岡、青森、弘前にも4名おり、講師スタッフは揃っている。

### 【主な意見】

- ・世界遺産登録に向けた取り組みは、実際に動くこととなった時に団体だけではどうにもならない。市がどれくらい協力してくれるとか、県がどれくらい予算を確保するかは心配ではあるが、ぜひ応援してあげたいと思う。

### 【採択結果】

合計点 75.8 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合計		75.8

事業番号	5
事業名	文化振興事業「第2回 金魚ちょうちんと金魚ねぷた交流事業」
団体名	一般社団法人 弘前文化保存技術会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：どのようなかたがお手伝いされているのか、教えていただきたい。

A：弘前市文化財保存技術協会の会員の女性を中心に、基本的に謝礼は一切なく、1日25人から30人がこの事業にかかわっている。

Q：将来像みたいなのがあれば教えていただきたい。

A：柳井市は、弘前市との全市的な市レベルでの交流まで発展させたい。来年度以降については、弘前市の観光と柳井市の観光と行政がまずどうなのかという検討をしていただいて、民間が必要であれば我々が交流する。柳井市も弘前市も同じ時期に国の街並み保存地区に選定されているので、そちらの交流を続けて行くことになろうかと思う。内容が金魚やねぷたではなく、街並み保存のあり方という交流に切り替わっていくと思う。ねぷたについては、どういう交流が市のレベルになれるかを、行政が協議をして展開を示してほしい。

#### 【主な意見】

- ・将来的には、斜里町とか太田市のように友好都市みたいになっていけば一番いいと思う。
- ・脇役だった金魚ねぷたにスポットが当たるっていうのは、非常に面白い試みだと思う。
- ・柳井市の行政はあまりタッチしておらず、民間レベルの交流になってしまっているような事業の中で、弘前市側だけが大きく膨らんでいっても、なかなか行政同士の交流には結びついていかないのではないか。

#### 【採択結果】

合計点 74.3 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点



審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		74.3

事業番号	6
事業名	文化振興事業「第1回 弘前仲町地域町並み保存事業」
団体名	弘前市仲町地区 伝統的建造物保存会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：去年はどれくらいの人に参加したのか教えていただきたい。

A：事業に関しては、黒板塀の漆喰塗は弘前工業高校の建築科の生徒たち6名と一般市民4名で、合わせて10名のかたに参加いただいた。お茶会は、およそ60名で、そのうち外国人が40名くらいだった。武道演武会は、2回でおよそ80名の一般市民のかたが見学に来た。

Q：受け入り住宅の指定管理を受ける際に、来館者何名、利用者何名という目標を立てているか教えていただきたい。

A：市との契約が5年間となっている。来館者を何人目標にするか、どういうふうにするかについて細かい市との取り決めはない。ただし、どうしたら来てもらえるか管理者として工夫しなさいというのは契約書の中にあるので、チラシを作る、ホームページをたち上げる、ポスターを作るなど活動をしている。また、県内及び全国の伝建地区の方にチラシを配布している。今回申請した事業を令和2年度の事業として、ポスター、チラシ、ホームページ等も加えて、周知活動に努めるというのが目標である。

#### 【主な意見】

- ・講座として取り入れながら手入れしていくというのは、将来的にも繋がって素晴らしいことだと思う。
- ・時敏小学校の「伝統と文化と昔遊び」事業を、ぜひ伊藤家の庭でやっていただきたい。学区外の子もたちも大人も集まって、もう一つの交流の場ができるのではないかと期待している。ぜひ今後も頑張ってください。

#### 【採択結果】

合計点 78.7 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合 計		78.7

事業番号	21
事業名	大仏公園あじさいまつり
団体名	石川町会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：どのようにPRする方向でいるのか教えていただきたい。

A：ポスターは当初100枚作っていたのを、今は200枚に増やした。チラシも3,000枚を

5,000枚に増やして配布し、宣伝している。あとはテレビとか新聞等で報道していただいている。去年からFacebookでも発信したが、慣れないこともあり、どこまで見られているかはわからないがいろいろ努力している。

Q：来園者数は増えているか。

A：一番初めは3,000人くらいで、その後は5,000人くらい。大型バスも来るようになったので、去年は7,700人くらい来ていただいた。

Q：以前の審査会でウォーキングコースや歴史散策コースを設定してみたらどうかという話があったが、その後はどうなったか教えていただきたい。

A：全然手つかずであるが、大仏公園を利用したウォーキングの中継地点場所として提供している。

#### 【主な意見】

- ・弘前市の財産であり、本来、市が全て管理しなくてはいけないものだが、石川町会がボランティアで清掃、剪定、管理をしている。そのうえ、あじさいまつりをやるということで、十分1%システム事業に相応しいと思う。

#### 【採択結果】

合計点 79.3 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合 計		79.3

事業番号	7
事業名	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動
団体名	乳井町おこし協力会

【質疑応答（抜粋）】

Q：駐車場はあるのか。

A：1%システム事業で整備した場所がある。観光バスも停まれるようにしたところもある。

Q：手すりの設置も検討してほしい。

A：道路が狭いのに手すりをつけると、軽自動車を通れないので、別な方法を考えないといけないと思っている。

【主な意見】

- ・乳井周辺は、弘前よりも歴史が古いが、弘前市民においてもまだ認知度が低い。これを機会に多くの人に知ってもらい、盛り上げて、維持管理をきちんとできるような仕組みを作ってもらいたい。

【採択結果】

合計点 80.3 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合計		80.3

事業番号	24
事業名	体育で ONE TEAM! ~小・中学校タグラグビー出前授業~
団体名	NPO 法人 弘前サクラオーバルズ

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：この事業の持ち出し部分の財源を教えてください。

A：クラブで普及活動の予算をとっており、その一環としてやりたいと思っている。NPO 法人なので、会員の会費や企業からの寄付金を集めて活動している。

Q：これから実施スケジュールを立てていくことになると思うが、小学校の要望を聞きながら、柔軟に動けるものか教えてください。

A：基本的にはラグビーのコーチやタグラグビーの指導資格を持っている構成員が、中心になって回る予定である。しかし常に構成員のスケジュールが合うとは限らないので、地元のラグビー部の学生にアルバイトという形で入っていただき、柔軟に日程を組んでいこうと考えている。

Q：学校には、タグラグビーの道具があるところとないところがあると思うが、これから購入されるものを貸し出しするということか。

A：私たちが授業をする時は、私たちの購入したものを使ってもらう。その後、もし導入していただけることになれば、学校の方で購入を検討してもらいたいと思っている。

Q：県内でタグラグビーの拠点は、ほかにあるのか教えてください。

A：ラグビースクールは、弘前市以外だと、青森市、十和田市、八戸市にある。

### 【主な意見】

- ・小学校の要望があつて、小学校から依頼されて行くのであれば、本来謝礼は小学校が支払うべきであつて、団体が1%システムの補助金で、持ち出してやるべきものではないのではないか。
- ・これをきっかけに、教育委員会も予算を組んでほしいが、今の時点では難しいと思うので、まず1年やってみていただきたい。

### 【採択結果】

合計点 72.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.0
合 計		72.0



事業番号	33
事業名	弘前さくらコンサート Vol.6
団体名	Rainbow Muse Hirosaki

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：新型コロナウイルスの影響もあるが、練習はどうしているか。

A：少数制で練習している。それぞれが努力してできる範囲で勉強している。今までのように一斉にはできないが、市民が作るコンサートなので楽しくやっていたらと思っています。

### 【主な意見】

- ・事業内容については今回、入場料も引き上げて自立に向けた取り組みということで、すごく頑張っていると思う。

### 【採択結果】

合計点 76.5 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合計		76.5

事業番号	8
事業名	ありんこまつり
団体名	特定非営利活動法人 ありんこ

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：ボランティアの募集の仕方について、どのように記載されたのか教えていただきたい。

A：前は町内会の回覧板に、「ボランティア募集」というかたちで回覧をさせてもらった。町内会の各班の分の資料もお配りして、町会長にもお願して配布したが、ボランティアという言葉があまり刺さらなかったのか、問い合わせも無かった。次は「お手伝いできるかたを募集します」など少し文言を変えてやっていきたいと思っている。

Q：施設の利用者の人数等を教えていただきたい。

A：登録人数は、現在、高等部から小学校1年生まで、特別支援学校に通っている21名。それに対して医療ケアが必要な子どもたちが5名、登録して利用している。

#### 【主な意見】

- ・来年度以降は、地域のかたや他の施設の作ったものを販売していくとあったが、遊びに来てもらう次の段階として、みなさんに運営側として参加してもらうかたちに発展できればいいかと思う。
- ・地域に事業所があるという認識をみなさんにもってもらい、地域に必要な存在だと認知されていく方向に進んでいけばいいと思う。
- ・自然なかたちで、地域の人と障がいのあるなしにかかわらず、みんなで交流していこうという活動なので、応援して見守っていききたいと思う。

#### 【採択結果】

合計点 79.3 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合 計		79.3

事業番号	25
事業名	津軽笛を通じた地域交流事業（第5回 全日本横笛コンクール）
団体名	津軽笛地域づくり実行委員会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：学校訪問は、市役所にある各学校ポストを使って募集のチラシを配るのか。

A：全学校から応募が来てしまうと対応ができないため、知っている学校に声を掛けてやっている。

Q：どんなかたちになったら自立というふうを考えて、これからどう運営されるのか、見通しや目指しているところを教えてください。

A：三味線の全国大会のようにできればいいというのが目標である。そのためには、協賛金・収入が安定し、事業費を捻出できるような体制ができればいいと考えている。

### 【主な意見】

- ・クオリティが高い人の演奏を聞けることはすごいことだと思う。
- ・いろいろな人に横笛の価値を伝えることを一生懸命やっていただきたい。

### 【採択結果】

合計点 77.5 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合計		77.5

事業番号	26
事業名	槌子町会盆ねふた運行（第8回）
団体名	槌子町会青年部

【質疑応答（抜粋）】

Q：槌子ねふた愛好会との協力関係を教えていただきたい。

A：槌子ねふたの本体やロープ、拡声器などの細々したものをお借りしている。

【主な意見】

- ・町会単位の行事としてのねふたの意味づけにもつながっていくので、大きくみんなに知られるくらいに宣伝して、町内会を活性化させていただきたい。

【採択結果】

合計点 73.2 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる	7.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.8
合計		73.2

事業番号	15
事業名	おしごと体験広場キッズハローワーク
団体名	おしごと体験広場 キッズハローワーク実行委員会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：去年初めて出したブースは、たくさんあるのか。

A：弘前市役所や農業生産者、電子機器会社が新しくブースを出している。

Q：飲食ブースの設置において、アレルギーなどに配慮した食の提供とは、具体的にどういうことか教えていただきたい。

A：内容物の表示をはっきりとわかるようにすることを、出店される方に徹底してお願いしている。買うときに一目でわかるようにシールをきちんと貼るなどしている。

Q：出店者の選択について教えていただきたい。

A：公募はしておらず、全体の職種のバランスと私たちの理念に賛同してくれるかたにお願いしている。企業も宣伝の要素が強いものは、凄く良くても入れない。子どもを子ども扱いしないとか、あくまでも社会体験プログラムに技術的な協力をするという理解が得られるところで、一対一で時間をかけ、かなり丁寧な交渉を進めている。

#### 【主な意見】

- ・おしごと体験以外にも体験で得られる共通通貨があり、それを持っていくといろいろなおまけと交換できるお楽しみ要素もある。
- ・職業体験は、子どもだけじゃなくて大人も楽しめる感じがする。
- ・非常にたくさんのプレイヤーを巻き込んで事業を作り上げている。いろんなことをやっていて素晴らしい事業だと思う。

#### 【採択結果】

合計点 84.5 点  $\geq$ 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.3
合 計		84.5

事業番号	16
事業名	HELLO! HIROSAKIDS! ~まちへ行こう!
団体名	おしごと体験広場 キッズハローワーク実行委員会

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：保護者との関係についてどう考えているのか。

A：この事業は、完全に子どもだけの参加で行う。小学生を参加者として、中高生のボランティアを何名か入れて、弘前の子どもをまちに出していくということをやろうと思っている。保護者は直接事業に参加することはなく、かかわるのは子どもの送迎だけになると思う。

Q：子どもは何人くらい参加し、大人は何人くらいかかわっていくのか。

A：小学生が20人。各グループに中学生が1人か2人と、そこに大人が1人入るくらい。実行委員会が8人。管理・運営する側の大人は極力絞り、まちの大人に協力してもらおう。

Q：4日間のスケジュールのうち、4日目は発表だが、体験したことを集まってまとめたり、整理する時間が必要なのではないか。

A：作業するために、1カ月間空き店舗を拠点として、週末や時間ができた時に来て作業したりしてもらおう。遊びに来てもいいような子どもの居場所を作ろうと考えている。

#### 【主な意見】

- ・タイトルの「まちへ行こう」は要するに、「まちを知る」ということだと思うので、まちを見るようにして、1日目は「さがしてみる」ではなく、「さがしてみよう」などにすると子どもが主語になっていいのではないか。

#### 【採択結果】

合計点 80.2 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点



審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合 計		80.2

事業番号	32
事業名	「あのね、知ってる？ここにもフランス」プロジェクト
団体名	弘前グローバル・アクション

#### 【質疑応答（抜粋）】

Q：弘前大学の学生が主体になっているということは、世代交代を繰り返しながらやられてきていると思うが、どのように世代交代をしているのか教えていただきたい。

A：1年ごとに幹部が交代していくので、毎年いろんなイベントが終わった後に、そのイベントや事業の振り返りを毎回しっかり行って引継ぎをしている。加えて3年生が2年生にしっかり役割を与えることで、下の学年でも事業内容や活動内容がわかるようになっており、経験を通して、世代が交代しても動けるようになっている。

Q：プチマルシェは去年まで助成はいらなかった。なぜ今回のプチマルシェをまた申請することになったのか教えていただきたい。

A：プチマルシェは、私たちの団体が1%システムから独立して行った9月下旬開催の「マルシェ」でやる企画の予行練習という感じで、市民のかたに親しみをもってもらうために行っているものである。昨年はプチマルシェで申請はしなかったが、その前日に手回しオルガンの装飾のワークショップで1%システム事業を申請しており、今回はプチマルシェで、さらに手回しオルガンを市民の方々に親しみを持ってもらいたいと思い、申請した。

#### 【主な意見】

- ・メンバーが入れ替わるという団体の特性を生かして、新しいものや新しいアイデアを取り入れて次の事業なども作っていったら楽しいと思う。
- ・若い人の計画で遊歩道にまたたくさんの方が戻ってくるようなきっかけを作ってくると、凄く弘前市民としてありがたい。
- ・若い学生がまちを盛り上げたいという気持ちだけでも、全面的に応援してあげたいと思う。

#### 【採択結果】

合計点 77.8 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合 計		77.8

事業番号	18
事業名	「無料接客中国語セミナー・観光中国語ボランティア事業」
団体名	弘前日中友好の会

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：旅行会社などから問い合わせはあるのか。

A：旅行会社とは全く繋がりが無い。もしあれば、ガイドとかをやる方向には進むと思うが、全く接点がない。

Q：実際、このセミナーにホテルや飲食関係のかたなどは参加されているのか。

A：想定より参加していない。講師の都合に合わせて、木曜日の午後6時から午後8時に設定しているが、ターゲットになるかたは忙しい時間なのかもしれない。日中や土日開催してほしいとの要望はある。

### 【主な意見】

- ・活動目的が、「観光ボランティアとして活動する」だが、実際に通訳ボランティアとして活動する時間が少ない。税金を使って弘前の観光を盛り上げようという趣旨の団体なので、もう少し時間を増やしてもらいたい。
- ・受講したかたも活動する場所があるとモチベーションが高くなって、より一層参加しやすくなると思う。

### 【採択結果】

合計点 66.8 点  $\geq$  60.0 点  $\Rightarrow$  採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.2
合計		66.8

事業番号	19
事業名	さくらまつり駐車場空き情報リアルタイム発信事業
団体名	弘前大学丹波研究室

### 【質疑応答（抜粋）】

Q：機材を一旦購入したからには、どれくらいこれを継続して研究していくのか。

A：できればずっと続けていきたい。結果的にも駐車場全体情報として収集できて、混雑が改善できるレベルに達するまで続けたいと考えている。

Q：Web ページに何かアクセスしやすいように情報提供を増やそうとか、そういう工夫を考えているのか。

A：前々年度に比べて、スマホの閲覧に対応したいというインターフェイスの変化が大きかったため、スマホの閲覧が8割だった。そこでかなりのアクセス数が稼がれたというのも一つあった。SNS も1年目で、認知度の向上はできたと思う。

Q：アップルウェーブでも、さくらまつりの時に駐車場の空き情報を案内しているが、上手に連携が取れば、もっと情報を伝えることができるのではないか。

A：私たちはリアルタイムで常に情報を出し続けている。もしできるのであれば、こちらとしてはやってみたい。

### 【主な意見】

- ・遠くまで見据えてやっていただきたい。先輩・後輩の引継ぎで良いものを作っていただきたい。
- ・駐車場の名前だけでなく、さくらまつりの案内の駐車場地図など手にすることが多いマップの駐車場の番号とも何か工夫して連動してもらえれば、もっと効果があるように思う。

### 【採択結果】

合計点 77.2 点  $\geq$ 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合計		77.2

3月21日審査結果 (35事業のうち16事業)

採択とする事業            16事業

不採択とする事業        0事業